



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社アルファポリス

上場取引所 東

コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,716	10.6	1,735	6.5	1,741	6.5	1,067	7.1
2023年3月期第3四半期	6,974	0.1	1,856	11.1	1,862	11.0	1,149	10.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	110.20	
2023年3月期第3四半期	118.63	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,317		11,353		85.3	
2023年3月期	12,436		10,285		82.7	

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,353百万円 2023年3月期 10,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	7.7	2,300	4.9	2,300	5.2	1,426	5.3	147.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	9,687,400 株	2023年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	270 株	2023年3月期	270 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	9,687,130 株	2023年3月期3Q	9,687,130 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復が見られるものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する出版業界におきましては、紙の出版物の市場は厳しい状況が続いているものの、一方で電子出版の市場は堅調な成長を続けております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2023年（1月から12月まで）の紙と電子を合算した推定販売金額は前年同期比2.1%減の1兆5,963億円となり、その内訳は、紙の出版物については同6.0%減の1兆612億円、電子出版については同6.7%増の5,351億円となっております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

#### ① ライトノベル

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を大きく上回る252点（前年同期比59点増）となりました。2024年1月からTVアニメ第2期の放送を開始する『月が導く異世界道中』の最新巻を刊行し、さらに書店の需要に応じた既刊各巻の増刷及び出荷を行ったことで、本タイトルが売上を大きく牽引いたしました。また、ボーイズラブレーベル「アンダルシュノベルズ」から刊行した『最推しの義兄を愛するため、長生きします！』の第3巻が、前巻に続いて好評を博し、紙書籍のみならず、女性向け小説と親和性の高い電子書籍販売においても販売数を伸ばし、好調な売れ行きを示しました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

#### ② 漫画

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る134点（前年同期比22点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、TVアニメ第2期の放送を開始する『月が導く異世界道中』やシリーズ累計700万部を突破した『ゲート』等の人気シリーズの続刊が引き続き好調に推移いたしました。また、当ジャンルと非常に親和性の高い電子書籍販売につきましては、刊行点数の増加に伴い新規配信作品数が拡大したことに加え、各電子ストアにおいて作品露出の強化や販売強化等の施策を複数展開したことにより、売上高は大幅に増加いたしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

#### ③ 文庫

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る136点（前年同期比16点増）となりました。当ジャンルにおいては、取扱いジャンルの拡大を目的として、「キャラ文芸」「ライト文芸」「ホラー・ミステリー」等の開拓中のジャンルから、各Webコンテンツ大賞における受賞作を中心に優秀な作品を複数刊行してまいりました。

しかし、開拓中のジャンルにおける刊行を強化した反面、刊行書籍1点あたりの発行部数は前年同期より減少したことから、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る金額で着地いたしました。

#### ④ その他

当第3四半期累計期間の刊行点数は3点（前年同期比2点減）となりました。シリーズ累計141万部の人気作『居酒屋ぼったくり』の著者の最新作『深夜カフェ・ボラリス』を刊行し、本タイトルが想定通りの好調な売れ行きを示して、当ジャンルの売上を牽引いたしました。

しかしながら、刊行計画の都合上、刊行点数が前年同期から減少したことにより、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る金額で着地いたしました。

以上の活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,716,507千円（前年同期比10.6%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果はあったものの、期初に計画していた「印税率の改定」及び「人材・設備の拡充」といった事業基盤強化を目的とした成長投資を進めたことや紙書籍の製本コストが増加していること等が影響し、営業利益は1,735,918千円（同6.5%減）、経常利益は1,741,069千円（同6.5%減）、四半期純利益は1,067,512千円（同7.1%減）となりました。

（注）シリーズ累計部数：同作品の続編に加え、同作品の漫画及び文庫を含み、部数は電子書籍販売数を含む。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ626,613千円増加し、12,724,714千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前事業年度末比485,817千円増）したこと、売掛金が増加（同80,350千円増）したこと並びに製品が増加（同59,630千円増）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ254,933千円増加し、592,833千円となりました。これは主に、投資その他の資産が増加（同258,232千円増）したことによるものであります。

### ② 負債

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ175,341千円減少し、1,934,608千円となりました。これは主に、流動負債のその他が増加（前事業年度末比167,294千円増）したこと及び未払金が増加（同82,048千円増）した一方で、未払法人税等が減少（同393,552千円減）したこと及び賞与引当金が減少（同35,606千円減）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ10,624千円減少し、29,704千円となりました。これは主に、長期借入金の減少（同9,617千円減）によるものであります。

### ③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,067,512千円増加し、11,353,235千円となりました。これは全て、利益剰余金の増加によるものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,771,740	9,257,557
売掛金	2,800,422	2,880,773
製品	251,162	310,792
仕掛品	206,227	238,674
その他	68,548	36,917
流動資産合計	12,098,101	12,724,714
固定資産		
有形固定資産	30,053	35,509
無形固定資産	33,842	25,087
投資その他の資産	274,004	532,236
固定資産合計	337,900	592,833
資産合計	12,436,001	13,317,548
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,044	73,554
1年内返済予定の長期借入金	25,040	15,476
未払金	689,011	771,060
未払法人税等	586,712	193,159
賞与引当金	49,450	13,843
投稿インセンティブ引当金	28,898	34,551
返金負債	457,442	466,319
その他	199,349	366,643
流動負債合計	2,109,950	1,934,608
固定負債		
長期借入金	37,959	28,342
その他	2,369	1,362
固定負債合計	40,328	29,704
負債合計	2,150,279	1,964,313
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	8,568,710	9,636,223
自己株式	△637	△637
株主資本合計	10,285,722	11,353,235
純資産合計	10,285,722	11,353,235
負債純資産合計	12,436,001	13,317,548

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,974,871	7,716,507
売上原価	1,654,773	2,014,663
売上総利益	5,320,097	5,701,843
販売費及び一般管理費	3,463,329	3,965,924
営業利益	1,856,768	1,735,918
営業外収益		
受取利息	31	37
前払式支払手段失効益	5,440	4,750
その他	895	488
営業外収益合計	6,367	5,276
営業外費用		
支払利息	142	125
営業外費用合計	142	125
経常利益	1,862,993	1,741,069
特別損失		
関係会社株式評価損	9,419	—
本社移転費用	—	19,274
特別損失合計	9,419	19,274
税引前四半期純利益	1,853,574	1,721,794
法人税等	704,358	654,282
四半期純利益	1,149,215	1,067,512

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。